

1. 点検及び評価の基本的な考え方

趣旨	○目的 効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たす ○根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条	対象	○平成28年度に実施した取組みを対象 ○教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みも点検・評価
方法	○帯広市教育基本計画の「個別目標」「基本方向」ごとに実施 ○取組みの成果と、課題・今後の方向性の2つの観点から点検・評価	学識経験者の知見の活用	○学識経験者から意見・助言をいただき、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けて活用をはかる

2. 点検及び評価の結果

次代を担う人づくり

知識・技能の習得		
展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	○標準学力検査等で課題を明確にし、基礎学力の定着に向けた授業改善のほか、授業改善資料「帯広の子どもの学力」を配布	○個々に応じた学習指導や授業改善のほか、家庭と連携して学習習慣等の改善を進める。 ○児童生徒の主体的な学習の実現に努める
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	○市民大学講座において、関係部署と連携した情報周知や、ニーズに対応した内容の企画により、目標値を達成	○講座の見直しや新規講座の実施、効果的な情報発信により、学習機会の提供や新規受講生の確保に取り組む
職業に関する教育・学習活動の推進	○帯広南商業高校において、進路指導や生活指導などの人材育成により、就職率及び検定取得率は、目標値を達成	○帯広南商業高校において、企業ニーズ等を把握しながら、社会性と教養を身に付けた人材の育成に努める
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	○「クラウド型サーバーシステム」へのアクセスにより、各小中学校で教育効果の高い教材等を活用	○児童生徒の情報モラルの向上を図るため、関係機関と連携しSNSやインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む

豊かな心の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どもの社会性の育成	○小中学校、帯広南商業高校で、児童生徒の悩み等にきめ細かい相談体制をとったほか、いじめ・非行防止の意識啓発のため、いじめ・非行防止5つの誓いを印字したクリアファイルを配布	○不登校児童生徒の復帰に向け、教育相談員の専門性の向上を図り、個々に応じた相談体制の強化に努める ○子どもの居場所づくりでは、PR活動により、事業への理解促進とボランティア参加の呼びかけに取り組む
豊かな情操の育成と生きがいづくり	○学校図書ボランティアが行う読みかせや朝読書等により、目標値を達成 ○良質な芸術・文化の鑑賞機会を提供し、身近で芸術・文化に親しめる環境づくりを実施	○学校図書館において魅力ある蔵書整備や、運営に係る担い手の確保・専門性の向上など、学校図書館の利用促進に取り組む ○芸術・文化に関する魅力や開催情報を市民に周知する手法を検討するほか、事業内容の充実に努める

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
標準学力検査の目標基準到達観点数(観点)	26	37 39	42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数(人)	22,590	38,741 23,000	23,000
帯広南商業高等学校の就職率(%)	100.0	100.0 100.0	100.0
帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率(%)	46.7	88.4 64.5	75.0



市民大学講座
(講座のパンフレット)

帯広南商業高校でのキャリア教育
(模擬面接の様子)

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
不登校生徒の復帰率(%)	30.8	28.6 57.5	65.0
子どもの居場所づくり参加児童数(人)	7,575	25,199 29,300	31,100
小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数(冊)	9.1	16.0 10.9	11.8
中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数(冊)	1.6	3.8 2.1	2.4
鑑賞事業の入場者数(人)	34,098	27,963 38,000	38,000



子どもの居場所づくり事業
(放課後子ども広場「空手教室」)

札幌交響楽団特別演奏会の開催

健やかな体づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	○体力運動能力実態調査により、児童生徒の体力・運動能力の現状を把握し、指導の充実及び体力向上の推進など、学校での体力づくりを促進	○多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに努める ○スポーツ少年団の登録数の増加を図るため、学校等を通じて各家庭に情報提供を継続する
食育の推進と学校給食の充実	○食に関する教育指導のほか、食育レシピ集などの児童生徒への配布、食育指導専門員による出前授業の実施により、食育を推進 ○地元JAや地元生産者との連携により、学校給食に地場産野菜を導入	○地元の関係機関と協議を進め、学校給食の地場産野菜の使用量の拡大に取り組む ○子どもたちにアンケート調査を実施し、より取組みやすい食育の環境づくりに努める

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数(人)	35,677	68,745 87,000	87,000
総合型地域スポーツクラブの設置数(か所)	2	5 6	8
学校給食における地場産野菜の導入率(%)	55.7	48.3 68.9	70.0



2016フードパレーとかちマラソン

地産地消に取り組む学校給食
(地場産食材を使った給食)

人間を尊重し自然と共生する人づくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	○ユニバーサルデザインに関する講座の開催機会を拡大 ○男女共同参画に関する情報誌の発行などによる意識啓発 ○手話の理解促進のため、出前講座の開催、手話研修の実施	○ユニバーサルデザインの意識向上のため、効果的な周知に努める ○社会慣行の解消のため、男女平等意識の定着・浸透を図る ○講座など手話言語条例の取組みを進める
グローバルに対応した教育・学習活動の推進	○森の交流館・十勝の記念事業などの実施により、国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数は、目標値を達成 ○外国語指導講師を全小中学校へ派遣し、指導を充実 ○帯広南商業高校に英語指導助手を配置し、国際理解を推進	○外国語指導講師の派遣等による指導の充実、小中学校が連携した指導により、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図る
環境に関する教育・学習活動の推進	○環境にやさしい活動実践校の取組みは、制度の意義・効果への学校の理解が進んだことから、認定校が3校増加し、目標値を達成	○環境教育プログラム集などにより環境教育情報を発信し、学校や社会教育施設等が連携した環境教育を推進する

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
UDに関する講座等への参加者数(人)	234 (H17-19平均)	530 284	370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数(人)	8,465 (H17-19平均)	10,570 9,095	9,350
環境にやさしい活動実践校(校)	10	35 35	41



夏休み期間中の「サマーイングリッシュ」の様子

出前環境教室の実施
(真剣に説明を聞く児童の様子)

ともに学びきずなを育む地域づくり

ふるさとの理解の促進

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
子どものふるさと教育の推進	○児童生徒が郷土を愛する心を育む「郷土体験学習」等を推進 ○百年記念館出前講座により、ふるさとの自然を学ぶ機会を提供	○小中学校で行っている体験活動等のプログラムの見直し等を検討する ○百年記念館で、教材の更新等に取り組む
地域に関する学習活動の推進	○地域に根ざした親しみやすいコミュニティ講座等を開催 ○郷土資料の展示などにより、ふるさとと理解を促進 ○アイヌ民族文化情報センター（リウカ）の展示・解説、出前講座により、アイヌ民族の歴史・文化に関する理解を深める機会を提供	○市民大学講座や百年記念館博物館講座、図書館の郷土資料展示などにより、地域理解を深める機会を提供する ○教材の整備などにより、アイヌ民族の歴史や文化を学習する機会の充実を図る

きずなづくり・まちづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	○青少年リーダー養成事業のプログラムの工夫や参加の呼びかけにより、参加者数は目標値を達成 ○百年記念館や図書館等において、ボランティア養成講座により、習得した知識・技術を生かした活動が定着	○青少年育成団体の人材育成・発掘のため、活動内容を積極的に周知し、学校等の協力を得ながら組織強化を図る ○社会教育施設において、知識・技術の向上・継承を図り、活動の場を今後も提供する
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	○おびひろ市民芸術祭のプログラムの見直しや、市民主体の芸術文化活動への支援により、発表・活動の場への参加団体数は、目標値を達成 ○各競技団体等による合宿誘致活動の取組みにより、スポーツ合宿団体数は、目標値を達成	○芸術文化団体の活動の継続・活性化のため、文化団体等が情報交換する機会の提供を検討する ○安全で快適に各種スポーツ大会を実施できる環境の整備に努める

基本目標を実現するための基盤づくり

学校・家庭・地域の連携

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
開かれた学校づくり	○全小中学校で、学校評議員に意見を求めるなど、制度を十分活用 ○文化・スポーツ活動などに、学校施設を開放	○学校評議員研修会や評議員だよりの内容を充実させ、各小中学校の学校評議員の情報交換の機会を設ける
家庭教育への支援	○子育て支援センターで、子育て講座の開催回数が増加 ○家庭教育学級で、家庭の教育力を向上 ○動物園や百年記念館で、親子での学習機会を提供	○子育てメール通信の利用増のため、利用の利便性を健診時など様々な機会に周知する
家庭や地域による教育支援の推進	○「こども学校応援地域基金プロジェクト」により、様々なボランティア団体がつながり、子どもを地域ぐるみで育てる活動が深化	○学校支援ボランティア等の人材確保や、各種団体のつながりを広げ、活動内容の充実に努める

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
地域について学ぶ講座等への参加者数(人)	4,053	6,596 4,000	4,000



ふるさと学習農園
(畑に種芋を植えている様子)



第7回中城ふみ子賞贈呈式

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
青少年リーダー養成事業参加者数(人)	208	313 245	260
学習成果の活用事例数(件)	1 (H20)	9 7	10
発表・活動の場への参加団体数(団体)	56	99 62	65
各種スポーツ大会の観客数(万人)	16.0	19.3 20.8	20.8
スポーツ合宿団体数(団体)	150 (H20)	227 200	200



百年記念館でのボランティア活動
(常設展示室での小学生への展示解説)



冬季アジア札幌大会
帯広会場での
スピードスケート競技
(大歓声に沸いた競技会場)

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数(回)	10.2	16.5 11.6	12.0
子育てメール通信の利用率(%)	23.8 (H20)	42.0 50.1	60.0
学校支援ボランティアを活用した学校数(校)	2	40 28	40



家庭教育学級
(学級生交流会の様子)



こども学校応援地域基金プロジェクト
(「こども応援!みらいカフェ」の様子)

教育を支える人材の育成

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
教員の人間力・指導力の向上	○教育研究所による研修講座内容の充実、研修機会の周知を徹底 ○学校指導訪問において、学校力と教師の指導力が向上するよう、指導・助言を実施	○教員リーダー育成事業を見直し、新たな視点で教員の資質・能力等の向上を図る
地域の人材の発掘・育成・活用	○ホームページで芸術・文化活動を紹介するよう、未掲載の団体等に積極的にPRしたことにより、目標値を達成	○積極的にわかりやすい広報活動により、地域の指導者の人材発掘と活用を図る

教育環境の充実

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
学校教育の環境整備	○小中学校校舎の耐震化及び非構造部材の耐震化を完了 ○子供安全ネットワークにより、緊急時の家庭への連絡体制を確立	○学校施設の長寿命化計画策定に向け、情報収集を継続し、計画的な劣化調査を実施する
社会教育の環境整備	○図書館において「サビエ図書館」を開始し、サービスを拡大 ○百年記念館の展示解説システム導入、市民ギャラリーの展示用可動壁修繕など、社会教育施設の整備 ○「おびひろ動物園ゆめ基金」の創設	○市民1人当たりの図書等の貸出点数を増やすため、図書館のPRや講座の開催など、継続して利用拡大に取り組む ○社会教育施設の機能を維持できるよう、施設状況を適切に把握し、設備・備品の修繕と更新を行う
保育・体験活動の環境整備	○児童会館の入館者数は、利用しやすいという意識が浸透し、目標値を達成	○保育所の修繕等を進めるほか、児童保育センターの保育需要に対応するため、余裕教室の活用など検討する

教育機会の確保

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
就学・進学の支援	○農村地域の遠距離通学の児童生徒に対し、スクールバスを運行 ○就学援助費の支給、奨学金の見直し ○進学機会の確保のため授業料補助の実施	○スクールバスの計画的な更新を進める ○家庭の経済的負担を軽減するため、就学援助費や奨学金制度について検討を進める ○高校の間口を維持確保するため、情報収集や要望活動を継続する
健やかな発達の支援	○特別な配慮を必要とする子どものニーズを把握しつつ、保護者や専門家等の意見を総合的に勘案し、知的学級等を開設 ○特別支援教育補助員等の増員、生活介助員の継続配置	○特別な配慮を要する児童生徒に対し、適切な支援や教育を行うため、合理的配慮に基づいた体制・環境の整備を進める

よりよい教育のためのしくみづくり

展開方策	取組みの成果	課題・今後の方向性
魅力ある学校づくりの推進	○「こども学校応援地域基金プロジェクト」を意識し、地域と連携した取組みを全小中学校で実施	○地域との連携を見据えた事業として進め、地域人材の発掘・確保を図る
学校教育のしくみの工夫改善	○「帯広市エリア・ファミリー構想」により、エリア会議の開催、エリアの日の実施 ○幅広く市民意見を聞き、「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針」を策定	○学校間の交流機会を設けるなど、学校種間の相互連携をより一層強化する ○小中学校の適正規模の確保等について、市民の理解を得られる計画の策定に努める
社会教育施設の利用の促進	○とちかちプラザの利用者数が堅調に推移し、社会教育施設の総利用者数は、目標値を達成	○文化施設で行う公演・イベント等の情報発信を強化するほか、施設の修繕等を進め、文化施設・スポーツ施設の利用促進を図る
地域の実情に応じた教育行政の推進	○教育懇談会を開催し、市民と教育に関して意見交換を実施	○より幅広い市民意見を反映できるよう、教育懇談会の開催方法の工夫・改善を検討する

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
教職員1人当たりの研修受講回数(回)	2.2	3.3 2.8	3.0
地域の指導者の登録者数(人)	138	166 175	190
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数(団体)	260	276 269	272



クラウドサーバーの概要を
教職員へ伝える広報誌「教育情報」



第13回北の構図展の開催

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
小・中学校校舎の耐震化率(%)	46.5	100.0 79.1	100.0
市民1人当たりの図書等の貸出点数(点)	5.4	5.6 6.5	7.0
児童会館の入館者数(万人) (H17-19平均)	10.9	13.8 11.7	12.0



「おびひろ動物園ゆめ基金」の創設
(インドゾウのナナ)



新総合体育館の建設
(新総合体育館のイメージ)

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
特別支援学級の設置数(学級)	38	78 59	59



スクールバスの更新
(新しくなったスクールバス)



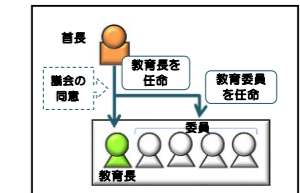
特別支援教育の充実
(知的学級の様子)

<成果指標の状況>

指標名	H19基準値	H28実績値 H28目標値	H31目標値
社会教育施設の総利用者数(万人)	95.2	104.4 95.2	95.2
文化施設の利用者数(万人)	54.8	53.4 60.0	60.0
スポーツ施設の利用者数(万人)	114.8	124.1 128.6	128.6



四館連携事業
「よりどりみどりがおかフェスタ!」の様子



教育委員会制度の変更
(新教育委員会制度の構図)